

郷土資料館 収蔵品紹介

60

『雁爪』
がんづめ

水田に生える雑草は、水や養分を横取りして稲の成長を妨げるので、何度も除草作業をしなければなりません。米作りにかかる時間の多くが除草に費やされました。雁爪は、素手での除草によって指先を傷めることから考えられたものです。弓型に曲がった三、四本の鉄製の爪がついていて、爪の先端を細くして土の中に入りやすくしてありました。雁爪の柄を片手で持ち、田を振り起こしながら草を土の中へふせていきました。除草と同時に土をほぐして根に酸素を送りこんだり肥料の吸収を助けたりして稲の成長を助けるといいう役割もありました。

除草は田植えが終わって雑草が生え始めたころ水田の水を流し出してから行います。稲の株と株の間を腰をかがめてはうようにして進みます。夏の炎天下、太陽が照りつけるなかで、土の照り返しを受け、汗を流しながらの重労働です。

雁爪は、歩いて使える田打ち車が普及するとはほとんど使われなくなり、さらに除草剤が使われるようになると、除草作業の苦勞は少なくなりました。



郷土資料館 (JAめぐみの坂祝支店3階) の次の開放日は、令和元年6月14日 (金) (午後1時～午後3時) です。ぜひご覧ください。

広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

東風吹くや優しき鳥語乗せてきし
顔ゆるむ涎掛地蔵や善導忌
店先の和菓子それぞれ春の色
懐かしき友との集ひ春爛漫
強東風の眼りを覚す山の木々
仰ぐ木のゆれ移りゆく東風の山
春浅し木々のみどりの影もなし
春の道左も右も鳥の詩
堅香子の花にはとどく土の声
その後は誰も知らざる雛の夜

岡本 憲子
岡本 憲子
長瀬 静子
長瀬 静子
安藤 文子
安藤 文子
田口 孝和
田口 孝和
兼松 禎子
兼松 禎子

お詫びと訂正

広報さかほぎ3月号に掲載致しました町民俳句に誤りがございました。申し訳ございませんでした。正しくは左記になります。

正：結びの地遠く伊吹に残る雪
誤：結びの地遠く息吹に残る雪

岡本 憲子
岡本 憲子



毎月
第三火曜日
18:00
～
18:20

坂祝町の旬な情報をまるごとお届け!

さかほぎなう! パーソナリティ: 小栗かおる

次回ゲストは、イタリア・マラネロ市を訪問した坂祝中学校の生徒さんです。お楽しみに!

iPhoneはこちら

Androidはこちら



スマートフォンでもFMららを聴くことができます。FMららアプリの無料ダウンロードはこちら。



おくやみ

兼松甲三様(黒岩)	市原一弥様(黒岩)	高木勝昭様(加茂山)	小島式次様(勝山)
81歳	51歳	74歳	82歳

5月のゴミ収集情報

もえるごみ収集日は、月・金曜日です。

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。
※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ等収集日 21日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。金物・ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 19日(日)

時間 午前8時から午前10時
場所 町内各自治会公民館
収集物 ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池